電力自由化後、FIT改正後の政策環境下でのビジネス

―地域からの報告―

2017年3月18日

コミュニティエナジー株式会社
南原　順

石見地方について

概要

- 島根県西部地方（旧石見国）
- 9市町、面積3,579.97[[km2]
- 人口約19.6万人、高齢化率30～40%

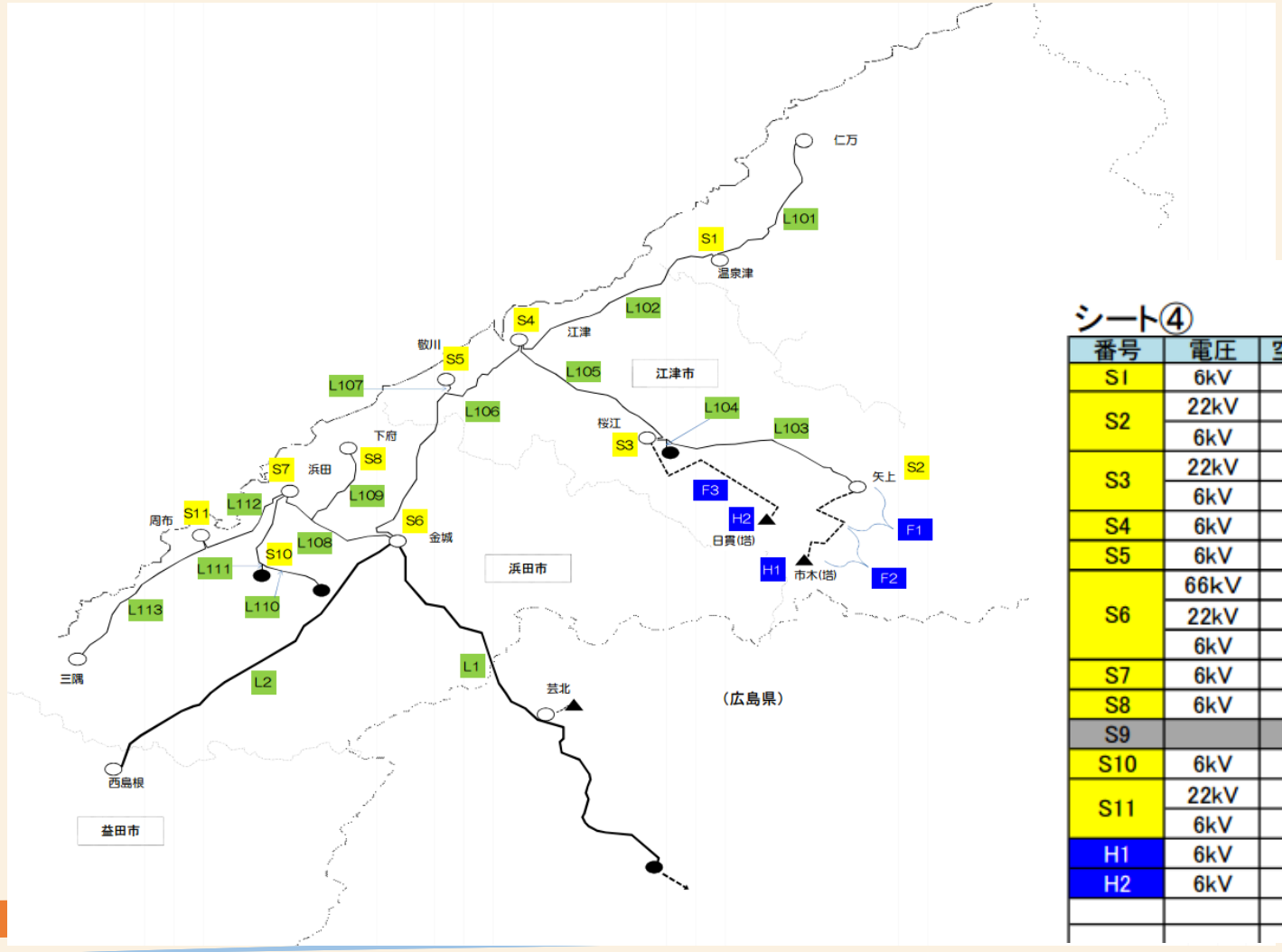
自然エネルギー資源

- 日射量3.4～3.7kWh/m2
- 風況 6～7m/s
- 木質バイオマス資源(潜在)
- 水力資源も。

石見地方について

FIT以前から大型風力が立地、FIT後はバイオマス発電、メガソーラーも。

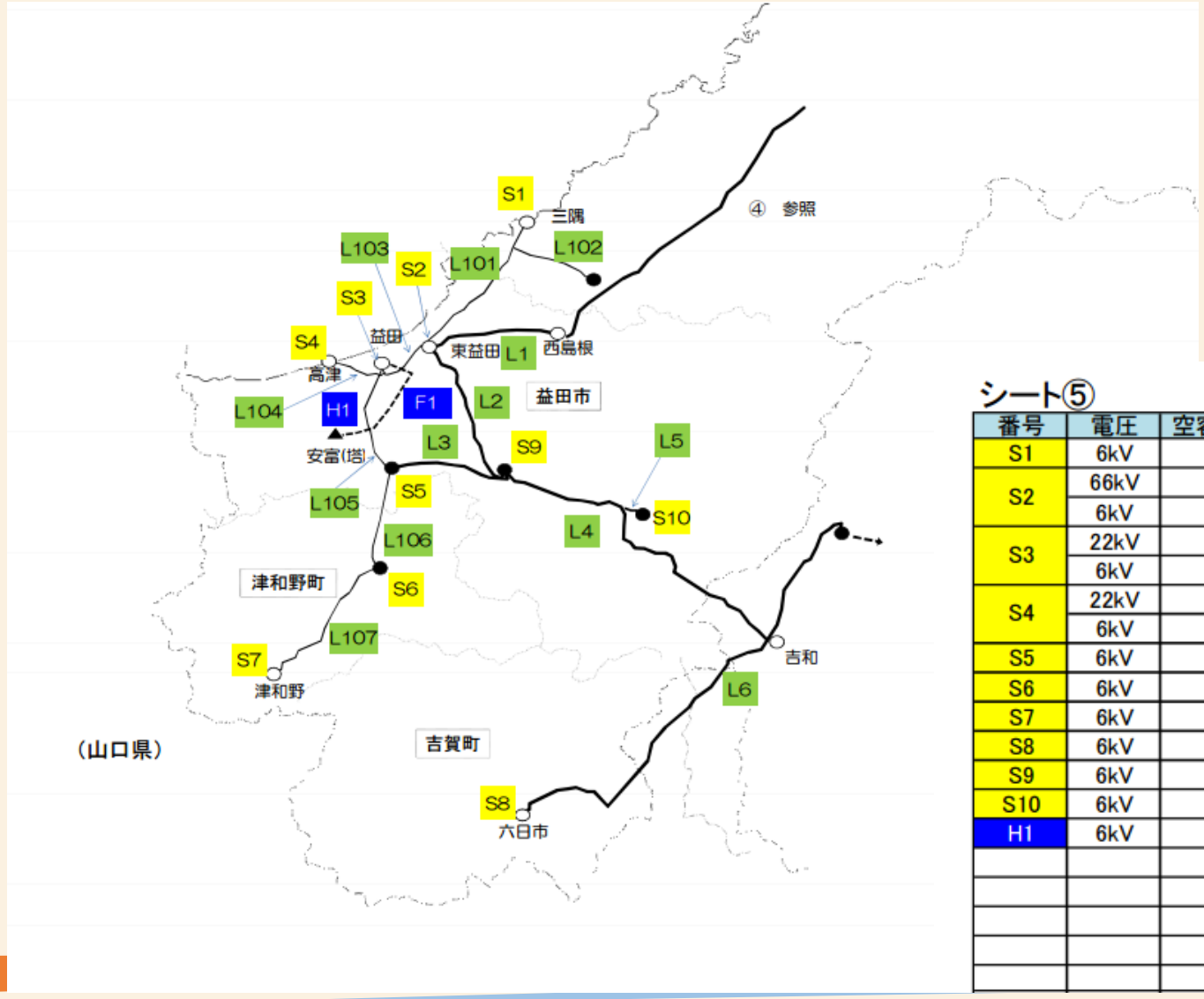
島根県西部（石見地方）の系統空容量(1)



シート④ (MW)

番号	電圧	空容量	番号	電圧	空容量
S1	6kV	0	L1	110kV	18
S2	22kV	0	L2	110kV	18
	6kV	0	L101	66kV	0
S3	22kV	0	L102	66kV	0
	6kV	0	L103	66kV	0
S4	6kV	0	L104	66kV	0
S5	6kV	0	L105	66kV	0
S6	66kV	0	L106	66kV	0
	22kV	0	L107	66kV	0
	6kV	0	L108	66kV	0
S7	6kV	0	L109	66kV	0
S8	6kV	0	L110	66kV	0
S9			L111	66kV	0
S10	6kV	0	L112	66kV	0
S11	22kV	0	L113	66kV	0
	6kV	0	F1	22kV	0
H1	6kV	0	F2	22kV	0
H2	6kV	0	F3	22kV	0

島根県西部（石見地方）の系統空容量(2)

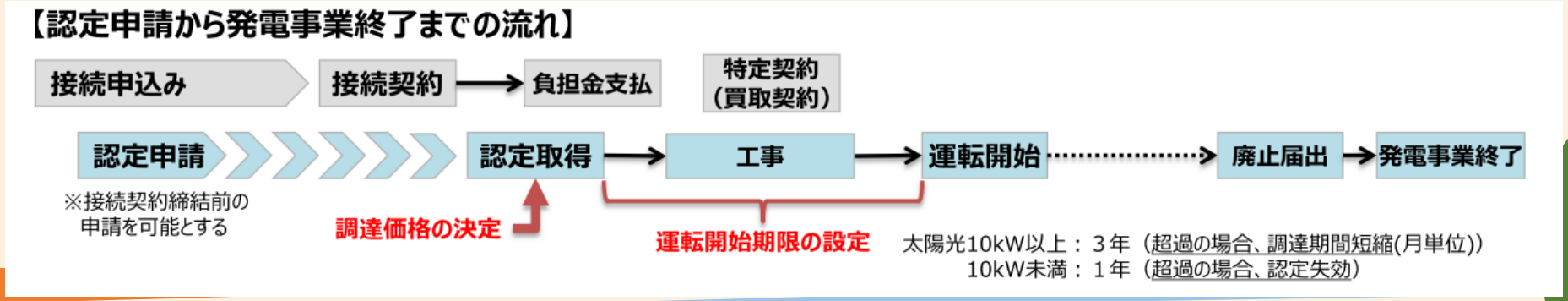


シート⑤ (MW)

番号	電圧	空容量	番号	電圧	空容量
S1	6kV	1	L1	110kV	75
S2	66kV	1	L2	110kV	0
	6kV	1	L3	110kV	0
S3	22kV	1	L4	110kV	0
	6kV	1	L5	110kV	0
S4	22kV	1	L6	110kV	0
	6kV	1	L101	66kV	1
S5	6kV	0	L102	66kV	1
S6	6kV	0	L103	66kV	1
S7	6kV	0	L104	66kV	1
S8	6kV	0	L105	66kV	0
S9	6kV	0	L106	66kV	0
S10	6kV	0	L107	66kV	0
H1	6kV	0	F1	22kV	0

改正FIT法の変更点と事業への影響

- 「事業計画認定」と「運転開始期限の付与」
  - 用地の見通しを立てた上で、まず接続枠を確保（旧FITは接続申請のみ）することが調達価格の決定のため第一優先となる。
  - その上で認定取得（買取価格確定）することになるが、運転開始まで3年以上かかることが見込まれる案件に関しては設備認定の取り直し（価格低下）も視野に入れて開発する必要あり。
  - H28.8.31以前に接続契約を結んでいる案件は



改正FIT法の変更点と事業への影響

「運転開始期限の付与」

- 一般的な案件であれば、特別高圧、高圧ともに3年は実現可能な期間
- H29年3月末の認定失効により、接続枠の状況が改善する一定の期待はあり
- 一方でゾンビ案件がそのまま居残る懸念もあり
  - 失効は設備認定のみであり、系統の接続契約(連系承諾+負担金)は残る。
  - H28.7.31以前に接続契約を締結済みの案件

改正FIT法の変更点と事業への影響

- 主な認定基準の審査基準
  - 分割禁止
  - 保守及び維持管理
  - 設備の廃棄
  - 標識の表示
  - 土地の確保
  - 関係法令の遵守
  - 住民との適切なコミュニケーション

→ いずれも変更による事業開発、運営への影響は軽微

調達価格について

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業用太陽光（10kW以上）	40円	36円	32円	29円 27円※1	24円	21円※3	今年度では決定せず	今年度では決定せず
				※1 7/1～（利潤配慮期間終了後）		※3 2MW以上は入札（平成29年10月に第1回予定）		
住宅用太陽光（10kW未満）	42円	38円	37円	33円 35円※2	31円 33円※2	28円 30円※2	26円 28円※2	24円 26円※2
				※2 出力制御対応機器設置義務あり				
風力	22円(20kW以上)					22円 / 21円	20円(20kW以上)	19円(20kW以上)
	55円(20kW未満)					据え置き	今年度では決定せず	今年度では決定せず
				36円(洋上風力)		据え置き		
地熱	26円(15000kW以上)					据え置き		
	40円(15000kW未満)					据え置き		
水力	24円(1000kW以上30000kW未満)					24円 / 20円(5000kW以上30000kW未満) 27円(1000kW以上5000kW未満)		
	29円(200kW以上1000kW未満)					据え置き		
	34円(200kW未満)					据え置き		
バイオマス	39円（メタン発酵ガス）					据え置き		
	32円(間伐材等由来の木質バイオマス)			40円(2000kW未満) 32円(2000kW以上)（間伐材等由来の木質バイオマス）		据え置き		
	24円(一般木質バイオマス・農作物残さ)					24円 / 21円(20000kW以上) 24円(20000kW未満)		
	13円(建設資材廃棄物)					据え置き		
	17円(一般廃棄物・その他のバイオマス)					据え置き		

調達価格について

価格

- 低圧連系の太陽光、風力、マイクロ水力の事業化は可能な水準
- バイオマス、地熱の据え置きも現時点では安心材料

入札

- 太陽光の2MW以上の入札は、価格勝負で中小規模の事業者には不利。
- 一方で「適切ではない」設計・施工を前提に低価格で応札する案件が入札量を占める懸念は有り

今後の地域での事業展開の可能性

- 発電事業は、連系をできる案件を優先して進めていく
  - 自家消費型の低圧太陽光、小水力、高圧事業所の屋根など
  - 木質バイオマス、バイオガスは上流、下流の構築が鍵
- PPSを梃子に省エネ、蓄電池活用によるエネルギーサービス
- エネルギー負荷以前に、需要の生まれる施設の運営へ参画する（温浴施設、宿泊施設、食品製造など）